

大阪教育大学生協のビジョンとアクションプラン（2012-2015 年度中期計画）

< 3つのミッション（社会的使命） >

- ミッション(社会的使命)とは、大阪教育大学生協の基本的な目的を表すものです。
大阪教育大学生協は、

1. すべての大学構成員の協同で、豊かで文化的な大学生活の充実に貢献する
2. 大学の理念と目標の実現に協力し、大学のパートナーとして魅力ある大学づくりに参加する
3. 助け合いの心や社会性を育み、人と地球にやさしい社会を実現する

ことを使命とします。

「ビジョンとアクションプラン」を決定するにあたって、まずは大阪教育大学生協の使命をあらためて確認いたします。

- ビジョンとアクションプランの決定にあたって

大阪教育大学生協は 2007 年度～2011 年度までの 5 年間で大規模な経営改革を実行し、それまであった約 7200 万円の累積赤字を解消し、2011 年度末で黒字化を果たしました。この 5 年間で大学の要望にも応えながら複数の店舗改装も実施し、組合員の皆さんの声にも応え続けてきた結果、学生生活実態調査などでは組合員の皆さんから毎年非常に高い評価をいただいています。

累積赤字を解消して新たに出発する今年度を機に、大阪教育大学生協の存在価値や中長期的に目指すこと、当面優先的にとりくむ課題を整理して、ますます組合員の生活と大学に貢献できるよう、今総代会にて「大阪教育大学生協のビジョンとアクションプラン」を決定します。

決定したビジョンとアクションプランは今後、経営の羅針盤として理事会、学生委員会、生協職員が実現にこだわり続けるとともに、広く組合員や大学へ発信し、生協への参加や協力をさらに広げていきたいと考えています。

< 4つのビジョン（中期目標） >

- ビジョン（中期目標）は、ミッションとして掲げたものをもう少し具体的に「何を実現するのか」「どのように実現するのか」という内容にし、中期的に達成すべき目標として4つにまとめたものです。

1. 大阪教育大学にふさわしい店づくりと満足度の高いサービスを実現し、大学構成員の勉学研究や福利厚生に貢献します
2. 勉学・研究・キャリア形成のための事業を通して、「教員養成大学としての大学」「高等教育機関としての大学」の理念や目標の実現に貢献します
3. 大学生協のとりくみや事業を通じて協同体験や助け合いの輪を広げ、学生の自立や成長の場をつくります
4. 自立した事業組織として大学や地域の活性化、持続可能な社会づくりに貢献します

< アクションプラン（今後 4 年間の重点計画） >

- アクションプランは、ビジョン実現のために、「具体的にどのような行動が必要か」「何を優先的に取り組むべきか」をまとめたものです。4 年間の間に、生協役職員、学生委員会の活動を考える上での指針ともなります。

1. 勉学や教育・研究に必要な商品やサービスを充実させる事業にとりくみます

- ① 授業に必要な教科書・参考書の手配はもちろん、TOEFL 等大学が実施する検定試験などをサポートします
- ② 教員の図書購入をサポートするための「選書システム」を導入し、定着を目指します
- ③ 学生の読書習慣を養う「読書マラソン」にとりくみ、読書を通じた組合員どうしの交流を広げます

2. 大学構成員の福利厚生 of 充実のため、大学や教育振興会とも協力しながら施設やサービスを改善し、組合員満足度を高めます

- ① 大学生協の満足度・生協店舗の利用満足度を高めるため、生協職員自らが厳しい目で評価・改善し続けるとともに、アンケートや「一言カード」での要望にできる限り応えます
- ② 組合員の大きな不満である「混雑問題」については、組合員の協力も求めながら、導線の整理やホール誘導係を配置するなどの手立てを実施し続けます
- ③ 未だ着手できていない柏原キャンパス複合店の改装を準備し、2014 年実施を目指して大学と協議をすすめます
- ④ 「大学生活 4 年間の中でどこかの生協店舗がリニューアルされる」という状況を作れるよう、自己投資に耐えうる、適切な剰余を生み出す経営を続けます

3. 大学のキャリアサポートのとりくみに貢献するとともに、組合員どうしの協同の中から学生の「将来を考え、準備する」ための場づくりを行います

- ① 組合員と大学が求めている「英語力」「PC 活用力」を高めるための事業に着手します
- ② 「就職活動を始める 3 年生までにどのような大学生活を送っていくべきか」を考えるための、1 年生向けのセミナーや講座などにとりくみます
- ③ 大学生協らしく「先輩組合員と後輩組合員」「教職員組合員と学生組合員」「組合員どうし」の協同やつながりを通じて、「自分の将来を考え成長を育む」場づくりを行います
- ④ 大学のキャリア支援センターと協議の場を設け、意見交換をすすめながら、大学生協が行える事業についてさらなる検討と大学への提案を行います
- ⑤ 寄附講座や奨学金など、間接的に大学の教育・研究を支えとりくみについて大学へ提案し、協議を行いながら実施します

4. さまざまなテーマについて考え・知らせるとりくみや事業を通して、学生の「生活主体者」としての成長を支援します

- ① 健康的な食生活を送れる「食生活の自立」や、消費者被害にあわず自活できる「消費生活の自立」、一般社会で生活する上での「マナー」など様々なテーマでの学びの場づくりを行います
- ② 健康で安全な大学生活を送れるための「学生どうしの助け合い（共済事業）」の強化と、病気・事故防止のための啓蒙活動の強化をおこないます
- ③ 学生が自分と社会や他人とのつながりを知り、社会性を身につける場面として、事業への参加や環境問題、国際交流などを位置づけ、とりくみます

5. 大学生協の存在価値を組合員自らが実感できるよう、広報活動を強化するとともに加入促進と事業への組合員の参加を広げます

- ① 大学生協の使命や目標を大学、教職員、学生やその保護者に対して広く発信し、大学生協を知ってもらいとりくみをすすめます
- ② 教職員の生協加入率を高めるためのとりくみを実施し、すべての大学構成員が参加・協力できる組織づくりをすすめます
- ③ 大学生協の事業に直接組合員が参加できる場面を増やし、「利用者」としてのみでなく「運営者」として生協への関わりをもてる組合員を増やします
- ④ 組合員の事業参加の場面に生協で働くパート職員の参加も広げ、やりがいの実感できる組織づくりをおこないます

6. 地域や社会の中での大学の在り方に根差し、大学の要望に応え続けるとともに、自らも自立した事業組織として持続可能な社会づくりに貢献します

- ① 省エネキャンパスの実現のため、大学の省エネルギーのとりくみに協力するとともに、店舗内・事務所内での省エネに年間を通じてとりくみます
- ② 国際交流フェスティバルなど「地域に開かれた大学づくり」のためのとりくみに積極的に協力します
- ③ リサイクル可能なテイクアウト容器を使用するとともに、回収率向上（リサイクル促進）のための啓蒙活動を強化します
- ④ 大きな災害が起きた被災地への支援活動に継続的にとりくみます。また、万が一大学が被災地になった場合には、大学と連携・協力したとりくみをすすめます

以上